15H 探究科学科県内企業・施設研修報告

◇期　日：令和 8 年 10 月 16 日（金）
◇場　所：桝田酒造店・スギノマシン・イタイイタイ病資料館
◇参加者：第 1 学年探究科学科 15H 生徒 40 名
◇引　率：島竹里枝先生・土井聡先生・杉山耕平先生

私たち 15Hは探究の授業の一環として、桝田酒造店・スギノマシン・イタイイタイ病資料館の３つの施設で研修を行った。実際に仕事をしている方々からその職業の魅力や、仕事内容を伺い、私たちの進路選択や将来設計について学べる良い機会となった。

最初に訪れたのは富山市岩瀬にある桝田酒造店だ。明治 26 年創業の 100 年以上の伝統ある企業で、酒造業だけではなく、岩瀬の美しい街並み作りを目指して古民家や蔵を改築して地域を活性化させるなどの活動を通して社会に貢献している。社長の桝田隆一郎氏は、地域にある大切なものを見つけ出しそれを残すことが大切だと訴え、日本や富山でしかできないことを見つけ広報していく事業を展開している。桝田氏がおっしゃっていた「自分ができないと思うからできない」というお言葉は私たちに挑戦することを鼓舞すると共にこの考えを生活に取り入れていきたいと思った。

次に訪れたのはスギノマシンである。ウォータージェットなどの製品を製造し、BtoB の販売形式で他の企業に製品を提供している。その分野は多岐に渡り、社会の歯車として必要とされる企業として活動している。世界中で取引を行い、トップシェアを占める商品もあり、第二次産業が盛んな富山の地域性を活かして世界へ羽ばたいていることに富山県民として誇りを感じた。多くの役割を担う人が介在してやっと 1 つの製品や取引が生まれることを知り、技術はもちろんのこと人同士の繋がりを持って社会から愛される企業になるのだと考えた。

最後に私たちはイタイイタイ病資料館を訪れた。近代化の負の遺産として有名なイタイイタイ病は後世に語り継がれる必要がある。事前にイタイイタイ病について講義を受けていたが、この見学を通して新たな気づきを得ることができた。実際の資料を見て、詳しい歴史を知ることによってイタイイタイ病についての理解を大いに深めることができた。

今回の研修を通して富山県の良さや私たちの将来の役割について再認識できた。これからの探究活動や日頃の学習にこの経験を存分に活かしていきたい。